

2004年7月27日

各 位

双日ホールディングス株式会社

スタンダード&プアーズによる  
当社連結子会社「双日株式会社」への格付け結果の件

スタンダード&プアーズ(S & P)は本日、当社が7月23日に発表した「新事業計画の基本方針」の内容を踏まえ、当社連結子会社である双日株式会社の長期優先債券格付けと長期会社格付けの「クレジット・ウォッチ」継続を決定したこと、“格上げ・格下げの方向性は未確定である”ことを発表しました。同社プレス・リリースによると、“従来は格下げを検討していたが、増資を軸とした新事業計画により、財務基盤が強化され、格上げとなる可能性も出てきたと判断した”とあり、また、“新事業計画に、債務免除や債務の株式化など、何らかの債務不履行を伴う金融支援が含まれない方向であることも考慮した”とあります。

S & Pは、7月14日に双日の格付けについて、長期優先債券格付けは「シングルBプラス(B+)」に維持したまま、長期会社格付けを「トリプルC(CCC)」に二段階引き下げること、および両格付けに対する引き下げ方向での「クレジット・ウォッチ」を引き続き継続することを発表しました。その理由について、同社プレス・リリースでは、“双日は昨年来、問題資産の処理を積極的に進めており、当初の再建計画は概ね予定通り進捗している”と評価する一方で、“同社の再建計画が見直され、債務免除や債務の株式化など、何らかの債務不履行を伴う金融支援の可能性が一段と高まったと判断した”としておりました。

当社はこれまで一貫して、“自主再生を進めていること”、“事業計画の進捗をさらに加速させるために様々な施策を検討していること”を繰り返し対外的に情報発信してまいりましたが、過日発表しましたとおり、財務体質の健全性確立及び収益力向上の加速を骨子とした「新事業計画」の中で、株主資本を充実するために、UFJ銀行を中心にUBSグループ等も加えた十分な資本増強を予定しております。なお、詳細につきましては本年9月上旬に発表する予定です。

当社グループといたしましては、今後も引き続き、お取引先や株主様、金融機関のご協力を頂戴しつつ、「再生の加速」に向け取り組んでまいります。

以 上